

2014年5月29日

## 当社の環状着色コンタクトレンズの色素の状態の評価を行った研究論文が 海外の学会誌に掲載されました

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニーのカラーコンタクトレンズについての論文<sup>1</sup>が、この度、オプトメトリスト向け学会誌、『クリニカル・アンド・エクスペリメンタル・オプトメトリー (Clinical and Experimental OPTOMETRY, 2014)』に掲載されましたのでお知らせいたします。

これは、米国ジョンソン・エンド・ジョンソン社による試験によって検証され、専門家による査読を経て掲載されたものです。この論文「Atomic force microscopy and scanning electron microscopy analysis of daily disposable limbal ring contact lenses (一日使い捨て環状着色コンタクトレンズの原子間力顕微鏡および走査型電子顕微鏡による分析)」では、アジア地域で販売されている7種類のカラーコンタクトレンズを対象とし、レンズ素材中の色素の位置と表面の平滑度の評価が行われました。

この研究で、当社のカラーコンタクトレンズは、色素がレンズ素材の内部に包み込まれていたことが報告されました。

色素がレンズの外側または内側の表面に露出していると、角膜や瞼の内側に直接色素が触れます。その小さな色素粒子による表面の凸凹が、レンズのつけ心地に影響することや、眼障害を引き起こす可能性があるとして述べられています。この研究で、対象となったレンズのリング状の模様部分の表面の平滑度を調べた結果、当社のレンズ表面の平滑度は他のレンズと統計的に有意差がありました。また、リング状の模様部分は、レンズの透明部分と同等の平滑度であったことも報告されました。

研究の詳細および研究内容については、以下よりご覧いただけます。

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/cxo.12148/full>

当社は消費者の目の健康を第一に考えるリーディングヘルスケアカンパニーとして、優れた製品をご提供すると同時に、これからも消費者に向け、眼科受診と定期検査の必要性や、コンタクトレンズの正しい使用を啓発する活動を強化してまいります。

---

<sup>1</sup> Lorenz, K. O., Kakkassery, J., Boree, D. and Pinto, D. (2014), Atomic force microscopy and scanning electron microscopy analysis of daily disposable limbal ring contact lenses. Clinical and Experimental Optometry. DOI: 10.1111/cxo.12148